

仲間と一緒に新たな一歩！

～令和2年度入園・入学式～



名前を呼ばれ、元気にお返事

新入園児は一人一人名前を呼ばれ、マイクを向けられると元気に返事をした後、年長の園児からの、お祝いの言葉で歓迎を受けました。

ことども園ひがしどおりには、18名の子ども達が入園。保護者・職員らが子ども達の新たな門出を祝いました。

式では、新型コロナウイルスの影響で出席者変更・式の簡素化に対し、各園・学校長より新入園児・生徒・保護者へお詫びしました。

児童・生徒が新たなスタートを切りました。

4月4日(土)、ことども園ひがしどおり(坂崎隆浩園長)入園式、4月7日(火)には、東通小学校(氣仙宏校長)入学式、東通中学校(岸健一郎校長)入学式が挙行され、98名の園児・児童・生徒が新たなスタートを切りました。



緊張しながら入場する新入児童

東通小学校には、新たに39名が入学。新入生入場が始まると、新入生は緊張した様子で幼さの残る中、しっかりとした足取りで、自分の席へと向かって歩いていました。

式では、氣仙宏校長より新入生に向け、歓迎の言葉と小学校の楽しさや沢山の魅力が伝えられました。これから始まる新たな学校生活に新入学児童は目を輝かせ、期待と不安に胸を躍らせ、聞きいつていました。

東通中学校の入学式では、41名が新たに中学生となりました。新入生は担任が自分の名前を呼ぶと、凛とした大きな声で返事をしていました。

岸健一郎校長よりこれからの中学校生活に向け、激励の言葉が送られました。また、誓いの言葉では、新入生代表の田村悠香さんが、これから始まる新たな学校生活への希望の込められた言葉を述べ、共に出席した新入生は、中学校生活への期待に胸を膨らませていました。



新しい学校に緊張気味の新小学生



真剣な表情で式に臨む新中学生



新入生代表の田村 悠香さんによる誓いの言葉

※新型コロナウイルスの影響で小・中学校の取材は自粛させて頂きました。尚、写真・文章については、教育委員会より提供